

ホクレン営農支援情報

(2021年5月号)

●人材派遣会社を活用した労働力確保の取り組み《中標津支所 営農支援室》

近年、農業分野において規模拡大、栽培作物種の増加などにより労働力の確保が今まで以上に課題となっています。人材確保には常用雇用が望ましいのですが、耕種であれば冬期間は作業がなく、農繁期でも作業によって必要な労力が異なり難しい状況です。

JA 中標津ではブロッコリー、大根、馬鈴しょなどの作物栽培に取り組んでいますが、パートの高齢化や人材不足により、労働力不足が深刻になってきています。



その対策として、株式会社フルキャストが行う、必要な時に必要な人数を仲介してくれる（状況によっては難しい場合があります）アルバイト紹介サービスを活用し、労働力不足を解消する取り組みを今年から展開する予定です。

3月5日、3月24日に、JA 中標津の会議室にて同社と耕種生産者でアルバイト紹介サービスの活用に向けた意見交換を行いました。生産者からは労働力不足が解消されることで、栽培作物や面積の構成が変更できるなど、取組に期待する声が寄せられています。

●環境制御装置を用いたミニトマトの栽培試験 《長沼研究農場 営農技術課》

ホクレン長沼研究農場では、2020年度から「環境制御装置を用いたミニトマトの栽培試験」を行っています。環境制御とは、温度、湿度、CO₂濃度といった栽培環境を制御する技術です。作物にとって最適な栽培環境にすることで、光合成が活発になり、生産性の向上が期待できます。昨年度に引き続きハウス3棟を使用し試験を行います。4月下旬の定植に向けポット苗の育苗を始めており、灌水量や室温に注意しながら管理を行っています。



温室内のミニトマト苗の様子

●「モバイル牛温恵」の事例を動画で紹介 《スマート農業推進課》

ホクレン営農支援センターでは、YouTube内の「ホクレンアグリポートチャンネル」に道内生産者への取材を基にした「モバイル牛温恵」の動画を公開しています。「モバイル牛温恵」は分娩を控えた牛の体内に温度センサーを挿入、体温の変化から分娩兆候を予測しパソコンやモバイル機器に知らせる装置です。活用事例の詳細は「ホクレンアグリポートチャンネル」をご覧ください。



ホクレンアグリポートチャンネル URL

● **長沼研究農場での今年度試験内容について** 《長沼研究農場 畑作物水稲開発課、園芸

作物開発課、営農技術課》

長沼研究農場では、今年度主に以下の試験を行います。ご興味のある方はお気軽にお問い合わせ
合わせください。

<品種開発> 春播き小麦

【問い合わせ先】畑作物水稲開発課:0123-88-3331

<品種開発> スイートコーン、人参、玉ねぎ、トマト類(ハウス、露地)、かぼちゃ、
ブロッコリー、レッドビート、スターチス

<品種比較> トルコギキョウ <栽培試験> カラーピーマン、冬野菜

【問い合わせ先】園芸作物開発課:0123-88-1990

<スマート農業> 環境制御装置を用いたミニトマトの栽培試験

<病害対策試験> かぼちゃつる枯病、コムギ縞萎縮病

【問い合わせ先】営農技術課:0123-88-3330



春播き小麦の品種開発



野菜類の品種開発（かぼちゃ）



環境制御装置を用いたミニトマトの栽培試験

内容についてのお問い合わせは ホクレン岩見沢支所営農支援室 まで

Tel. 0126-35-1302 E-mail. 06einousien@hokuren.jp

発行：ホクレン農業総合研究所 営農支援センター 営農支援推進課

Tel. 011-788-5467 E-mail. einousiensuisin@hokuren.jp